

中学校編

目次

| | |
|---------|----|
| 全体計画 | 69 |
| 学習プログラム | 71 |
| 年間指導計画 | 77 |
| 指導事例 | |

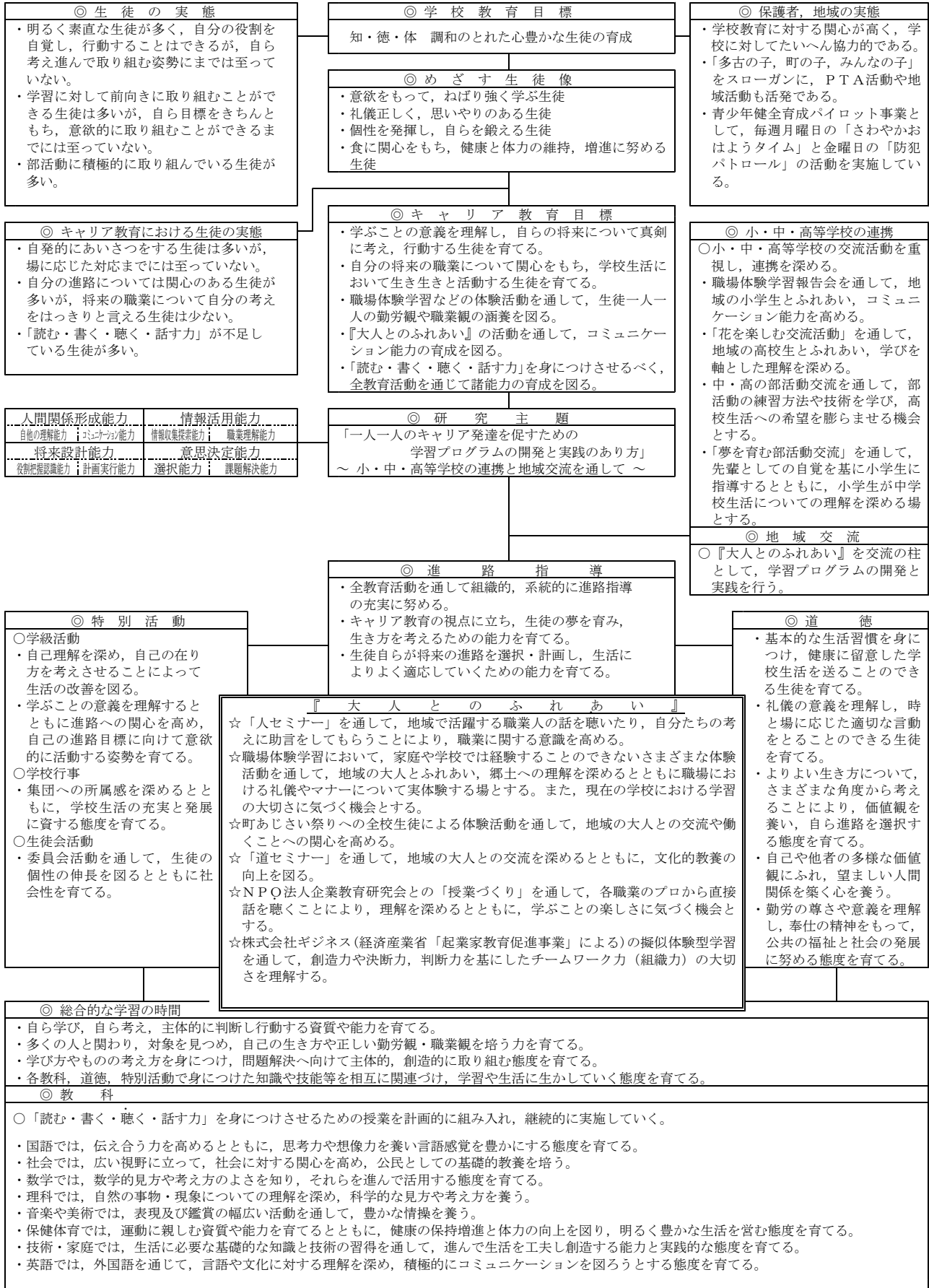
【多古中学校の事例】

※ 掲載順序について

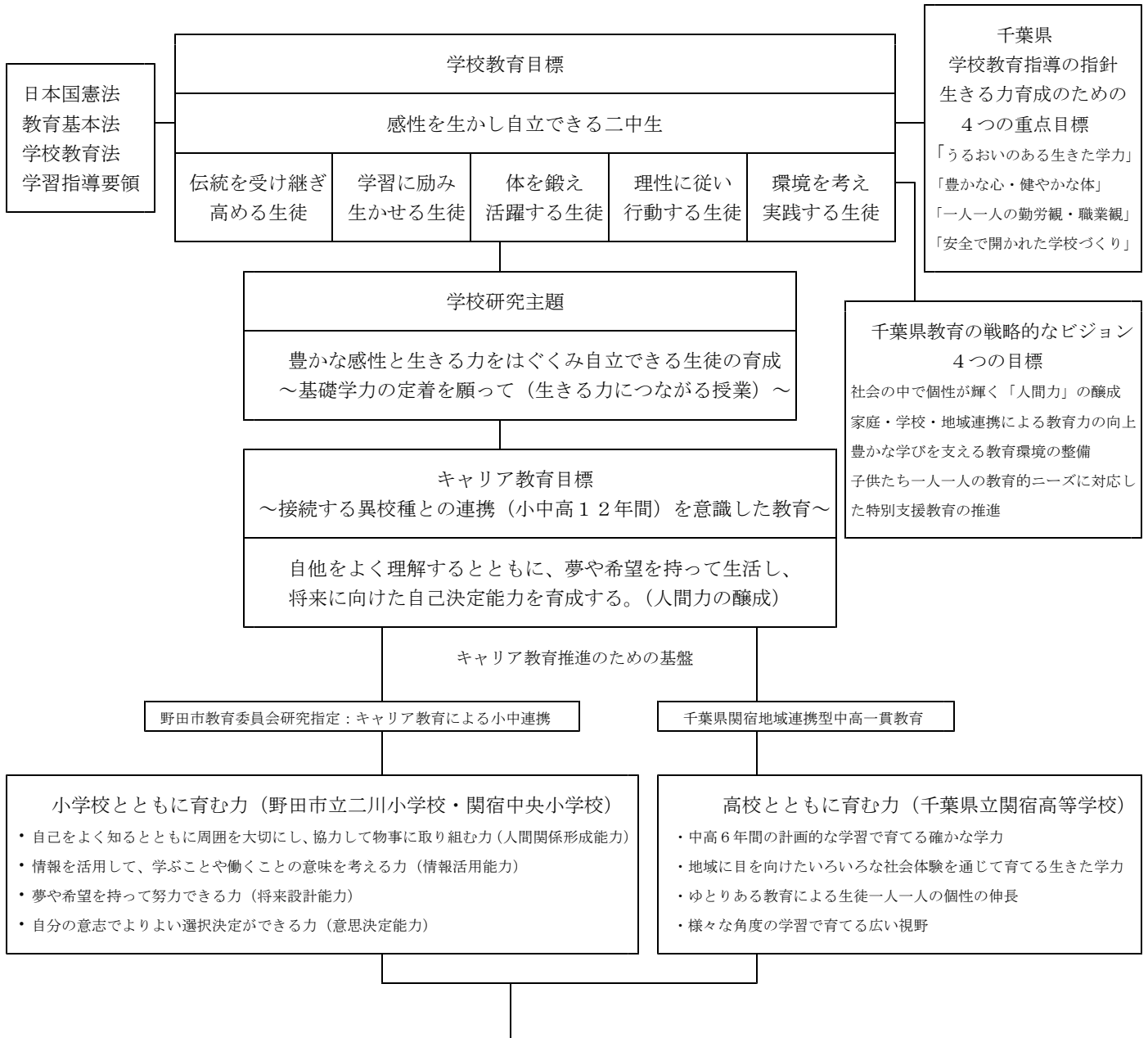
多古中学校の3年間にわたる研究では、「大人とのふれあい」に視点をおき、2年生の職場体験活動を中心として、3年間の学習プログラムを構築し実践しました。ここでは、その研究の「全体構想」と2年生の事例から先に掲載します。

| | | | |
|--------|------|-------------------------------|-----|
| | | 多古町立多古中学校における研究の全体構想 | 83 |
| 2年 | 総合 | 20年後の多古町づくり | 84 |
| 1年 | 総合 | NPO法人企業教育研究会と連携した取組 | 88 |
| | | 「人セミナー」について(説明) | 92 |
| 3年 | 総合 | 起業家教育「会社をつくってみよう」(ビジネス体験)について | 94 |
| | | 【各校の事例】 | |
| 1年 | 学級活動 | 夢や希望を大切にしよう | 99 |
| 2年 | 体験活動 | キャリア・スタート・ウィーク | 101 |
| | | 【CSW 参考資料】 | |
| 2年 | 数学科 | ゲームのプログラミングから学ぶ1次関数 | 105 |
| 3年 | 英語科 | 高校英語入門「アメリカの学校や職業について知ろう」 | 108 |
| 特別支援学級 | 生活単元 | こうがいがくしゅうにいこう | 110 |

多古町立多古中学校 キャリア教育全体計画



平成19年度 野田市立二川中学校キャリア教育全体計画



| 各教科領域におけるキャリア教育計画（指導に留意する能力に○） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------|----|----|----|----|----|----|----------|----------|-----|----------|----------|-----------|----------|----|-----|-------------|----|----|--------------|---|-------------------|
| 間 接 的 キ ャ リ ア 教 育 | 各教科領域 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健 体育 | 技術 家庭 | 外国語 | 学級 活動 | 学校 行事 | 生徒会 活動 | 総合 学習 | 道徳 | 部活動 | 朝の会 帰りの会 | 給食 | 清掃 | ※5日間 職場体験 | | |
| | 人間関係 形成能力 | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 直接的 キャリア 教育 |
| | 情報活用 能力 | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | |
| | 将来設計 能力 | ○ | | | | | | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | |
| | 意思決定 能力 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※5日間職場体験・・・「キャリア教育実践プロジェクト」野田市教育委員会

多古町立多古中学校 勤労観・職業観を育む学習プログラムー職業的（進路）発達にかかわる諸能力の育成の観点からー（1年）

| キャリア能力 | 総合的な学習の時間 | 道徳 | 特別活動 |
|-----------|--|---|---|
| 人間関係形成能力 | 「学級の和を育てよう」(●) ・エンカウンターやグループワークトレーニングを通して、学級への所属感や他者を認め理解する。 | 4ー(1)「集団生活の向上」 ・資料『オリエンテーション』より、集団の一員としての自覚をもち、リーダーのあり方やリーダーと他の関係を考え、集団の質を高めようとする態度をもつ。 2ー(3)「真の友情」 ・資料『音楽室で』より、真の友情とは何かを考え、窮地に立ったときに、互いに励まし助け合える友情を発揮する態度をもつ。 | ・「中学校生活をはじめよう」を通して、新しい友達について理解し、これからの生活を協力してともに楽しく送ろうとする意欲をもつ。 ・「話し合い活動と学級づくり」を通して話し合いの必要性と話し合いの方法や手順を理解しながら、よりよい学級にするための学級目標について話し合う。 |
| 自己理解能力 | 「おなじも出番セミナーに参加しよう」(○) ・地域の大人とふれあう体験を通して、適切なコミュニケーションの方法を身につける。 「人セミナーⅠ（職業と将来の夢）に参加しよう」(○★) ・相手の感情を考え、自己の考えを主張するスキルを学び、インタビューの手法を身につける。 「スキー教室の準備をしよう」(○△) ・クラスを越えて協力し、活動することの大切さを味わう。 | 3ー(3)「生きることの喜び」 ・資料『いすみ楊枝誕生』より主人公の生き方を通して、夢や希望、喜びをもって生きる人生を目指そうとする態度をもつ。 | ・「働くとは？職業とは？」や「学習の達人になろう」の活動を通して、多くの職業や、よりよい学習の仕方についての情報を得る。 |
| 情報活用能力 | 「いろいろな職業を調べよう」(★) ・いろいろな職業を調べることを通して、さまざまなメディアの活用方法を知る。 「人セミナーⅠ（職業と将来の夢）に参加しよう」(○●★) ・地域の大人から話を聞き、職業に対する考えや対話の大切さについて考える。 | 4ー(5)「公共の福祉、社会の発展」 ・資料『スイカ畑』より、ものを育てる喜びや充実感を得ていく主人公から、働くことの意義や勤労の尊さを理解する。 | ・「将来設計と進路の計画」の活動を通して、地域の大人から話を聴くことで、職業人の苦労や喜びについて理解し、健全な職業観を身につける。 |
| 情報収集・探索能力 | 「職場体験学習に取り組もう」(○●☆△▲□■) ・学校や家庭ではできないさまざまな体験を通して、勤労観・職業観を考える。 「人セミナーⅡ（働くことの意味）に参加しよう」(○●☆■) ・地域の大人から話を聞き、質問をすることによって、「働く」ということに対する考えを深める。 | 4ー(8)「地域を愛する心」 ・資料『ふるさと赤い土』より、自分の住む町を見直し、先人への感謝の念をもって郷土を愛する心をもち、積極的に町の行事に参加する態度をもつ。 | ・「なぜ、いま学ぶのだから」や「生き方いろいろ十人十色」を通して、中学校における学習の意義を理解するとともに、中学生が多様な社会的役割をもっていることを自覚する。 |
| 職業理解能力 | 「あじさい祭りに参加しよう」(○●▲) ・地域の一人として町の祭りに参加することによって郷土を愛する心を養いながら、自分の役割について認識をもつ。 「予備会を成功させよう」(○●) ・協力して一つの行事を成功させるという活動を通じ、自己の果たす役割について考える。 | 1ー(4)「真理への愛と理想の実現」 ・資料『アニメーション誕生』より、夢をもって理想の実現に向け努力し、人生を切り拓いていこうとする態度をもつ。 | ・「長い夏休み自分の力を伸ばそう」「学級の外へとび出して活動しよう」を通して、目標をもち、自分にできることを考えることで、計画的に活動していこうとする意識をもつ。 |
| 役割把握・認識能力 | 「職場体験学習に取り組もう」(○●☆△▲□■) ・職場体験学習でのさまざまな体験を、自分の将来設計に役立てようとする。 | 1ー(2)「強い意志」 ・資料『キャッチャーミット』より、目標に向かって不満や迷いを乗り越える強い意志をもつ。 | ・「夢や希望を大切にしよう」の活動を通して、夢や希望の実現のためには、その実現までの過程で様々な選択をする必要があることを理解する。 |
| 将来設計能力 | 「職場体験学習に取り組もう」(○●☆△▲□■) ・職場選択にあたって、自分の興味・関心に合った職場を選択し、活動に意欲的に取り組もうとする姿勢をもつ。 | 1ー(5)「反省と向上、個性の伸長」 ・資料『特練』より、現在の自分を振り返って反省すべき点を見出し、向上していこうとする態度をもつ。 | |
| 計画実行能力 | | | |
| 選択能力 | | | |
| 意思決定能力 | 「人セミナーⅢ（多古町づくり）で自分たちの活動を評価してもらおう」(○●☆▲) ・職業調べやインタビューの学習で学んだことを生かし、将来の多古町の問題点について考え、意見をもち。 | | |

多古町立多古中学校 勤労観・職業観を育む学習プログラムー職業的（進路）発達にかかわる諸能力の育成の観点からー（2年）

| キャリア能力 | 総合的な学習の時間 | 道徳 | 特別活動 |
|----------|---|---|---|
| 人間関係形成能力 | 「学級の和を育てよう」(●) ・宿泊学習やエンカウンター・グループワークトレーニングを通して、学級への所属感や他者を認める。 | 4ー(1)「集団生活の向上」 ・資料『リレー弁当』より、互いの立場をよく理解し合い、さまじき意義や協力のあり方について考察し、集団生活を向上させようとする態度をもつ。 | ・「人間関係を大切に」を通して、個性とはどういうものかについて理解し、自他の個性について考え、自他の個性に立脚を考え、協力する姿勢と人間関係を作り上げる大切さについて理解する。 |
| 情報活用能力 | 「おやじも出番セミナーに参加しよう」(○) ・地域の大人とふれあうことを通して、適切にコミュニケーションを図る。 「スキークラスを越えて協力しよう」(○△) ・クラスを越えて協力し活動することの大切さを味わいながら、コミュニケーションをとる。 「いろいろな上級学校を調べよう」(□■) ・いろいろな上級学校を調べ活動の中でさまざまなメディアを活用する。また、ボスターの制作を通して情報の発信方法や留意点がわかる。 | 2ー(1)「適切な礼儀」 ・資料『たった一言の“はい”なのに』より、礼儀の意義を理解し、時と場所に応じて適切な行為や言葉遣いで人間関係をよりよく築き、節度ある生活を心がける姿勢をもつ。 3ー(3)「生きることの喜び」 ・資料『がまん』より、人間のもつ心の弱さや醜さを克服して、よりよく生きることの喜びを見出す態度をもつ。 | ・「みんなで伸びる学級を」を通して、協力の姿勢をもつことと人間関係を作り上げる大切さについて理解するとともに、学級組織づくりを通して、豊かな人間関係を形成する力身につける。 ・「職業について調べよう」を通して、職場体験学習での経験や友達の意見を聴く活動から、さまざまな情報をまとめて整理し、職業に対する理解を深める。 |
| 情報活用能力 | 「人セミナーⅣ（働く意義と貢献）で職業について考えよう」(○●☆△) ・「何のために働くのか」「貢献とは何か」を考え、地域の人々から話を聞き、勤労観・職業観を深める。 「職場体験学習に取り組みよう」(○●☆△▲□■) ・学校や家庭ではできない様々な体験を通して「生きる力」を培うとともに、勤労観・職業観を養う。 | 4ー(5)「公共の福祉、社会の発展」 ・資料『僕のボランティア活動』より、勤労の尊さや意義を理解し、よりよい社会の実現のために尽くそうとする態度をもつ。 | ・「働くとは、貢献とは」を通して、「働く」とは何か、「貢献」とは何か、自分の考えをもつとともに、友人や家族の意見をもとめ、考察すること、職業観を深め、勤労観を高める。 |
| 将来設計能力 | 「あじさい祭りに参加しよう」(○●▲) ・地域の一人として町の祭りに参加し郷土を愛する心を養いながら、自分の役割等について認識を深める。 「予餞会を成功させよう」(○●) ・予餞会の準備を通して、自己の果たすべき役割について認識する。 | 4ー(6)「家族を愛する心」 ・資料『朝日に向かって』より、家族に対する理解や感謝の念を深め、家族と協力し合って明るく楽しい家庭を築こうとする意欲や態度をもつ。 | ・「自分の学びを考えよう」を通して、資料や友人との話し合いの中から、学ぶことの重要性や、人によってさまざまな価値観、社会における役割があることを理解する。 |
| 意思決定能力 | 「人セミナーⅤ（20年後の多古町づくり）で将来の多古町を考えよう」(○●☆▲■) ・多古町の将来像と自分たちの将来設計について考え、職業に対する考えを深め、地域の大人からアドバイスをいただく。 | 1ー(3)「自主・自律・責任」 ・資料『昭夫の主張』より、自己主張と自己中心とは紙一重であることを理解し、自分本位の利害にとらわれることなく、誠意をもって責任を果たす態度をもつ。 | ・「適性を生かした進路を考えよう」を通して、職業の条件と自分の適性とを関連させて理解し、進路計画の立案に生かしていく。 |
| 意思決定能力 | 「いろいろな上級学校を調べよう」(☆■) ・自己の興味、関心に基づいて、将来の進路を見据え自分にあつた上級学校を選択する能力を身につけることの大切さを理解する。 | 1ー(2)「強い意志」 ・資料『アテンション・プリーズ』より、直面する困難や挫折を乗り越え、将来の目標を達成していくこととする態度をもつ。 | ・「卒業後に学ぶ道」を通して、卒業後に自分たちが学ぶ道について理解を広げるとともに、進路情報を活用しながら、自分にあつた上級学校等を選択していく力を高める。 |
| 課題解決能力 | 「人セミナーⅥ（将来設計）で自分自分の将来を考えよう」(○●☆▲□) ・今までの学習を生かし、自分の考えた将来設計について発表し、相互評価を通して自分の将来について考えを深める。 | 1ー(5)「反省と向上、個性の伸長」 ・資料『私の武器』より、人とは違う自分の良さ（自分の個性＝自分の得意とするところ）を大切に、それを伸ばそうとする態度をもつ。 | ・「自分の将来をデザインしよう」を通して、職場体験学習等で得た知識や経験から、自己の課題や周囲の環境について考察し、自分たちが進むべき将来の方向性について考えていく。 |

多古町立多古中学校 勤労観・職業観を育む学習プログラム-職業的（進路）発達にかかわる諸能力の育成の視点から-（3年）

| キャリア能力 | 総合的な学習の時間 | 道徳 | 特別活動 |
|----------|---|--|---|
| 人間関係形成能力 | 「学級の和を育てよう」(●) ・エンカウンターやグループワークトレーニングを通して互いの存在を認め合い、自尊心やクラスへの所属感や最終学年に向かう意欲を高める。 「あじさい祭りで自分の力を発揮しよう」(○△▲) 「おやじも出番セミナー」(○) ・地域の大人と積極的にふれあうことにより人間関係の大切さを理解し、コミュニケーション能力を高める。 「修学旅行の準備をしよう」(○●△▲□■) ・訪問先の情報をさまざまなメディアを通して調査・収集、整理し活用できる。また、ポスターの制作を通して的確な情報の発信方法や留意点がわかる。 | 4- (3) 「よりよい社会の実現」 ・資料『公園の除草作業』より、奉仕活動の意義を理解し、勤労への尊さを知るとともに社会に奉仕する態度をもつ。 2- (1) 「適切な礼儀」 ・資料『いらっしやいませ、こんにちわ』より、あいさつの仕方により、相手に与える印象の違いを理解させることを通して、心のこもったあいさつがコミュニケーションの第一歩であることを理解する。 3- (3) 「生きることの喜び」 ・資料『津田塾子』より、夢や生きがい、喜びのある生き方を見いだすことで自己の生き方を考えていこうとする態度をもつ。 4- (5) 「勤労の尊さ」 ・資料『一房のぶどう』より、仕事にかける気持ちや働くことの意義を理解し、進んで働くこととする態度をもつ。 4- (7) 「学校を愛する心」 ・資料『純の誇り』より、仕事に対する熱心な取り組みを通して、自己の役割を考えよりよい校風を築こうとする態度をもつ。 | ・「学級活動を見直そう」を通して、学級における活動の意義を見つめ直し、各自が己のできることを考え、他に貢献できる姿勢を身につける。 ・「地域や社会とともに」を通して、地域の実態を見つめ、社会の一員として役割を果たすことの大切さについて考えるとともに、ボランティア活動の核として、地域との交流に積極的に取り組み姿勢を身につける。 ・「進路希望先を調べてみよう」を通して、卒業後に学ぶ意義を再認識するとともに、幅広い進路選択の実情、企業家精神のあり方について認識を深め、自己の進路決定の一助とする。 |
| 情報活用能力 | 「道セミナーに取り組もう」(●☆□) 「社会人としての体験をしよう」(●☆△▲□■) ・体験学習や出店販売などの活動を通して勤労の意義や働く人々のさまざまな思いを理解する。 「卒業を迎えて感謝の気持ちをもとう」(○●▲) ・奉仕活動などを通して、よりよい集団活動のための自分の役割やその方法がわかる。 「あじさい祭りに参加しよう」(○●▲) ・地域の一人として町の祭りに参加することによって、自分の果たすべき役割を認識するとともに郷土を愛し、地域の一員として生きる気構えをもつ。 「進路について考えよう」(○●☆△□■) ・進路計画を立てる意義を理解し、自分の目標とすべき進路を計画するとともに、それに向けて努力する。 | 1- (4) 「真理への愛と理想の実現」 ・資料『星に誓う-伊能忠敬』より、いくつになっても生かすことへの目標をもち、夢を実現するために、自己の果たすべき役割を理解し人生を切り開いていく態度をもつ。 2- (2) 「人間愛・思いやり」 ・資料『マーチングフェスティバル』より、困難を克服し、周囲の思いやりからやる気を取り戻し活動することの大切さを理解する。 | ・「夢に向かって」を通して、卒業式を立派な態度で迎えるとする自覚をもち、先輩として学校や地域に果たすべき役割について認識する。 ・「自分にあつた進路先を選ぼう」を通して、社会の現状に関心をもち、卒業後の自己の在り方や生かし方について計画的に考えることで、自分の進路計画をさらに深めていく。 |
| 将来設計能力 | 「進路決定を迎えて最終決定をしよう」(○●☆▲■) ・進路の再検討をしたり、先輩や親などに体験を聞き、さまざまな選択肢について比較検討して主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定をする。 「進路について考えよう」(○●☆△▲□) ・高校説明会や高校訪問を通して進路情報を整理し、自分の課題を見つけ進路の実現を目指す。 「社会人としての体験をしよう」(●☆△▲□) ・コンピュータによるビジネス体験を通して、自ら問題を発見し、問題解決に向け、仮説を立てて検証する。 | 1- (5) 「反省と向上、個性の伸長」 ・資料『ネジ切り』より、給料や地位ではない生き方を見つけ自己の向上を図っていく態度をもつ。 | ・「進路の選択に向けて」を通して、進路選択の検討に必要な「要素」と「手順」を確認するとともに、自分が選択しようとしている進路が自分自身に合っているかどうか判断し、自分に最適な進路を考える。 |
| 意思決定能力 | 「進路について考えよう」(○●☆△▲□) ・高校説明会や高校訪問を通して進路情報を整理し、自分の課題を見つけ進路の実現を目指す。 「社会人としての体験をしよう」(●☆△▲□) ・コンピュータによるビジネス体験を通して、自ら問題を発見し、問題解決に向け、仮説を立てて検証する。 | 1- (5) 「反省と向上、個性の伸長」 ・資料『ネジ切り』より、給料や地位ではない生き方を見つけ自己の向上を図っていく態度をもつ。 | ・「進路の最終決定をしよう」を通して、総合的に自分にふさわしい進路を考えるとともに、現時点での自分の課題を発見し、解決しようとする態度を養う。 |

多古町立多古中学校 勤労観・職業観を育む学習プログラム－職業的（進路）発達にかかわる諸能力の育成の観点から－（1年）

| | | | | | | | | | | |
|---|--------------|------------------------|--------|--------|---------------------|--------|--------|---------------------|------------------|------|
| ○ | 人間関係 形成能力 | 自他の理解能力 コミュニケーション能力 | ☆ ★ | 情報活用能力 | 情報収集・探索能力 職業理解能力 | △ ▲ | 将来設計能力 | 役割把握・認識能力 計画実行能力 | 意思決定能力 課題解決能力 | 選択能力 |
| ● | | | | | | | | | | |

| | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 英語 |
|--------|--|--|---|---|---|
| 教材名 | 「ものづくりの知恵」 | いろいろな地域を調べよう 「都道府県を調べよう」 | 「平面図形・空間図形」 | 「物質の状態変化」「気体、水溶液の性質」「植物のからだのつくりとはたらき」 | 「シンガポールからのお客さん」 |
| 生徒の活動 | ・職人と呼ばれる人たちの技や知恵が生活に役立っていることを学び、自分の身の回りを見直すことができる。 | ・テーマを決めて各都道府県の産業調べや旅行計画を立てることを通して、産業に対する人々の関わりや職業を理解できる。 | ・作図や計量を通して、直感的な見方や考え方を深めることができる。 | ・小集団の中で実験・観察を行うことにより自分の役割を認識し友達と協力して活動することができる。 | ・自分の好きなこと等を通して聞き手に伝えるなど、自己紹介に一般動詞を含む文を加えてスピーチ文を作成し発表することができる。 |
| 学習目標 | | | | | |
| キャリア能力 | ○☆★ | ☆■● | ■ | ☆●△ | ●○☆ |
| | 音楽 | 美術 | 保健体育 | 技術・家庭 | |
| 教材名 | 「合唱コンクールにむけて」 | 「自然物からの構成」 | 「体ほぐし」 | 技術 「ものづくりの技術を生活に生かそう」 | 家庭 「食生活を自分の手で」 |
| 生徒の活動 | ・合唱練習でパートの役割を把握し、ハーモニーづくりに取り組むことができる。友達と協力して一つの歌をつくる楽しさを味わうことができる。 | ・さまざまな自然素材の特徴や美しさを感じ取り、その形や色、質感を生かして配色や構図を決めることができる。 | ・運動そのものの楽しさや心地よさを味わい、自分や仲間の体と心の状態に関心を持ち、体の調子を整えることができる。 | ・ものをつくるときに必要な道具や機械のしくみを知り、構想から完成まで自分なりに工夫して作品を仕上げることができる。 | ・消費者として正しい知識をもとに、食品を選択することができる。 |
| 学習目標 | | | | | |
| キャリア能力 | ●▲ | ○□☆ | ■△○ | ☆★△▲ | ☆●▲ |

多古町立多古中学校 勤労観・職業観を育む学習プログラム—職業的（進路）発達にかかわる諸能力の育成の観点から—（2年）

| | | | | | | | | | | | |
|---|--------------|------------------------|---|--------|---------------------|---|--------|---|---------------------|--------|----------------|
| ○ | 人間関係 形成能力 | 自他の理解能力 コミュニケーション能力 | ☆ | 情報活用能力 | 情報収集・探索能力 職業理解能力 | △ | 将来設計能力 | □ | 役割把握・認識能力 計画実行能力 | 意思決定能力 | 選択能力 課題解決能力 |
| ● | | | ★ | | | ▲ | | ■ | | | |

| | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 英語 |
|-----------------------|--|---|--|--|---|
| 教材名 | 「人に優しい町作り」 | 世界からみた日本のすがた 「世界と日本の産業」 | 「三角形・四角形・円」 | 「化学変化と物質の質量」 「感覚と運動のしくみ」「生命を維持するはたらき」 | 「Our Hopes, Our Plans」 |
| 生徒の活動 おおよび 学習目標 | ・車いすの視点から町づくりの提起をする筆者の考えを受け止め、町の方を考えることができる。 | ・日本の産業の特色を理解し、労働が果たす役割について考える。また、地域に根ざした産業を調べ、物づくりの喜びについて考えることができる。 | ・平面図形の基本的な性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察する能力を養うことができる。 | ・自ら実験方法を選択し、実験を計画することにより積極的に見直しをもつて活動することができる。 | ・自分の就きたい職業や、やってみようことなどについて、その情報を整理することができる。 |
| キャリア能力 | ○●☆■ | ☆■ | ☆■ | ☆□▲ | ●☆■ |
| | 音楽 | 美術 | 保健体育 | 技術 | 技術・家庭 |
| 教材名 | 「合唱コンクールにむけて」 | 「アートパズル」 (アルチンボルトの春夏秋冬を用いた鑑賞) | 「体ほぐし」「水泳」 「陸上」 | 技術 「エネルギー変換を利用した製作品の製作」 | 家庭 「自分らしく清潔に暮らす」 「気持ちよく住む」 |
| 生徒の活動 おおよび 学習目標 | ・各パートの役割を友達と協力して工夫しながら取り組むことで把握し、クラス全体が同じ思いで歌唱活動に取り組むことができる。 | ・班ごとにアートパズルを協力して行う。作品を完成させるために、役割を把握し、意見を出し合うことができる。 | ・競争したり、記録を向上させたりするために効果的な練習方法を見つけ、取り組むことができる。 | ・エネルギーや力について知り、それらを利用した製作品の設計ができる。製作品の組み立て、回路の配線・点検ができる。 | ・衣服の手入れ方法を知り、進んで計画し、実践することができる。住まいを快適にしようと意識して生活することができる。 |
| キャリア能力 | ●△ | ●△ | ■△○ | △▲□■ | △▲■ |

多古町立多古中学校 勤労観・職業観を育む学習プログラム-職業的(進路)発達にかかわる諸能力の育成の観点から-(3年)

| | | | | | | | | | | | |
|---|------|-------------|---|--------|-----------|---|--------|-----------|---|--------|--------|
| ○ | 人間関係 | 自他の理解能力 | ☆ | 情報活用能力 | 情報収集・探索能力 | △ | 将来設計能力 | 役割把握・認識能力 | □ | 意思決定能力 | 選択能力 |
| ● | 形成能力 | コミュニケーション能力 | ★ | 職業理解能力 | 職業理解能力 | ▲ | | 計画実行能力 | ■ | | 課題解決能力 |

| | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 英語 |
|--------|--|---|--|---|---|
| 教材名 | 「世界の子どもたち」 | 「資源をむだなく」「安心して働く」 | 「相似な図形」 | 「エネルギー」「酸化と還元」「化学変化とエネルギー」 | 「The Olympic Gold Medal」 |
| 生徒の活動 | 世界の子どもたちの現状を知り、国際的な視点から自分の暮らしをとらえ、自分の考えを深めることができる。 | 日本の食糧自給率と環境問題について理解するとともに、社会の一員として果たすべき役割について考え、安心して暮らしていくためにどのような働き方がいいのかを考えることができる。 | 平面図形の性質を、三角形の相似条件を基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を伸ばすことができる。 | 自ら課題を選択し、実験結果を考察することにより学習課題を自主的に解決することができる。 | 日本特有の文化を紹介する英文を作成し、発表できる。英文には、関係代名詞を含め、絵や写真を貼付して作品として楽しめるものを作ることができる。 |
| 学習目標 | | | | | |
| キャリア能力 | ○●☆■ | ☆△ | ●☆■ | ☆▲■ | ☆●■ |
| | 音楽 | 美術 | 保健体育 | 技術・家庭 | |
| 教材名 | 「合唱コンクールにむけて」 | 「自己を見つめて」(自画像) | 「体ほぐし」「サッカー」「バスケットボール」 | 技術「コンピュータを制御に生かそう」 | 家庭「わたしたちの消費生活」 |
| 生徒の活動 | 美しいハーモニーをつくるために、課題を見つけた計画的に練習に取り組むことができる。クラスが一つとなり、思いを表現しようとして活動できる。 | 自分の内面を改めて見つめ、自ら構図や材料を工夫して自画像を制作することにより、自分にあった表現をすることができる。 | チームにおける自分の役割を自覚して、互いに協力して戦術を立てることができる。 | 生活とコンピュータの関わりを調べ、情報化社会や生活に及ぼす影響を知り情報モラルについて考えることができる。 | 販売の特徴や消費者保護について知り、生活に必要な物資・サービスを適切に選択し、購入する方法がわかる。 |
| 学習目標 | | | | | |
| キャリア能力 | ●△■ | ▲□○ | ■△○ | ☆★△▲ | ☆□ |